

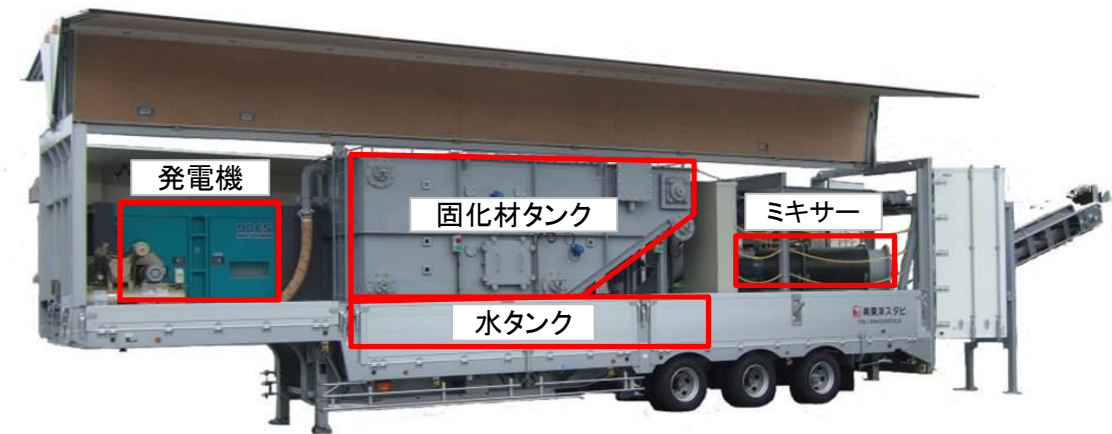
技術概要書（様式）

※別紙2

出展技術の分類	安全・防災 <u>インフラDX</u> 維持管理 環境 コスト 品質 （該当分類に○を付記）		
技術名称	S T B－M C工法	担当部署	営業部
NETIS登録番号	KT－100020－VG	担当者	平山 佳幸
社名等	株式会社 東洋スタビ	電話番号	0585－32－3617
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機		
	浅層地盤改良において地盤改良用固化材を使用する時に発生する粉塵を抑制する方法として、コスト面から有利となる方法に、少量の水を加え湿らせた状態で使用する方法があるが、均一な湿ったセメントを製造できる技術がなかったため、実用化までに至っておらず、材料価格が割高でも工場製品である発塵抑制型の固化材が用いられてきました。 しかし、近年の環境意識の向上や工事費の縮減と言った社会情勢の変化から、環境面とコスト面から優位となる湿らせたセメント製造の開発と施工システムの実用化に向けた検討を行いました。		
	2. 技術の内容		
	セメント及びセメント系固化材を用いて、現場内、原位置で湿潤状態の固化材（以下、モイストセメント）を製造する装置、ならびにこの固化材を使用した浅層地盤改良工法です。 開発したモイストセメント製造装置は、移動が可能な大型トラック、トレーラ搭載式となっており、粉体であるセメントに標準加水量で8%の水を噴霧しながら攪拌して均一な湿ったセメントを製造し、強制的に排出口まで送り出される仕組みとなっております。 発塵抑制型固化材の入手困難なエリアでも水を添加するだけの現場製造方式なので施工可能です。		
	3. 技術の効果		
モイストセメントは、セメント及びセメント系固化材と水で製造するため工場製品の発塵抑制型の固化材に比べ材料が安価であるため施工コストの縮減が図れます。縮減効果は、1日の使用量が40t以上から発揮します。特に、1日当たりの固化材使用量が50tを超える浅層地盤改良に効果が高いです。 また、製造されたモイストセメントは、原材料荷姿がバラ状のため、工場製品の発塵抑制型固化材使用時に発生するフレコン袋の処分が無く環境にやさしい工法である。			
4. 技術の適用範囲			
・粉体セメント系固化材を用いる浅層地盤改良に適用する。 ・路床改良工事 ・建築基礎地盤改良工事 ・仮設工事（重機の転倒防止工事）			
5. 活用実績（2026年4月 現在）			
・国の機関 57件（九州 2件、九州以外55件） ・自治体 26件（九州 1件、九州以外25件） ・民間 136件（九州 4件、九州以外132件） 合計 219件			

6. 写真・図・表

【MC製造装置 MC100-02 トレーラー搭載型】



(ミキサー拡大)
特許出願公開番号 2008-第55747号

【MC製造装置 MC100-07 トラック搭載型】



【一般固化材・発塵抑制固化材・湿潤(MC)固化材比較】

散布			
			
混合			
	一般の固化材	発塵抑制型固化材	MC(湿潤セメント)